

当社グループにおける再発防止の進捗について (第6回)

2024年9月27日

日本軽金属ホールディングス株式会社

再発防止策概要〈不適切行為の是正状況〉



- 特別調査委員会の調査によって報告された不適切行為214件につきましては、 2024年4月25日を持ちまして、すべての是正が完了しました。
- 安全性につきましては、自社検査や自社評価により当社として全ての不適切行為 事案で影響がなかったと判断しておりますが、 最終的にお客様に説明のうえ、ご判断いただくよう進めております。

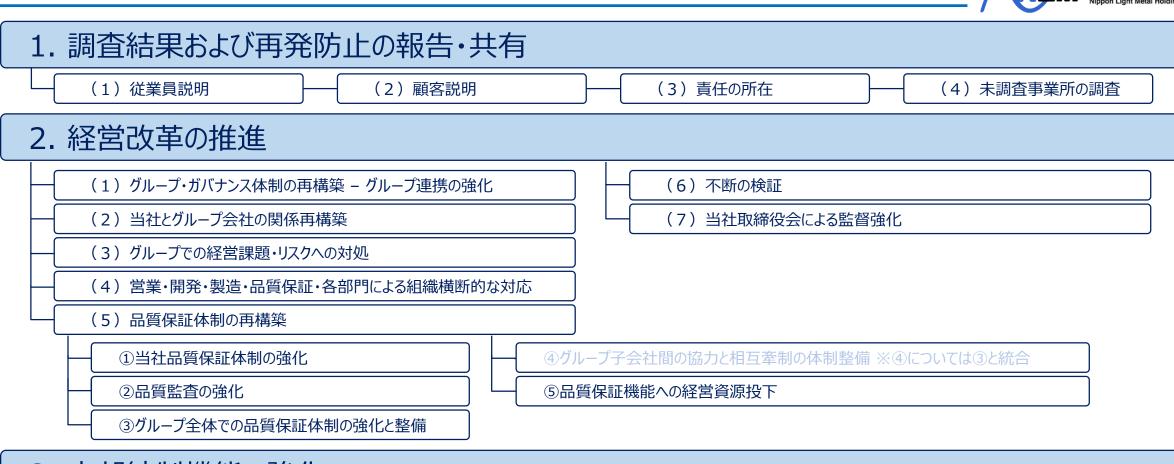
説明状況	対象	説明済	(うち)ご了承済
お客様数(延べ会社数)	4,106社	4,106社	4,099社(99%)

(2024年9月2日付)

お客様への説明を引き続き真摯に対応してまいります。

再発防止策の全体像





3. 内部統制機能の強化

- (1) 取締役会の監督のもとでの、実行的な内部統制システム構築・運用
- (2)企業風土の改革
- (3)情報の報告・連携の強化
- (4) コンプライアンス強化活動の推進

- (5)内部監査部門の強化
- (6) 内部通報制度改革
- (7)外部リソースの活用

再発防止策概要



再発防止策概要の詳細につきましては、添付資料「[表2] 再発防止の進捗(2024年9月版)」をご参照ください。

【進捗状況凡例】 「実施中」対策を開始し実施中、今後範囲・定着状況確認(16項目)

「検討中」対策の方向性・内容等を検討中(1項目)

【完了目標】 見直し・更新・訂正した項目をオレンジ色にて記載

経営改革の推進		
(1)グループ・ガバナンス体制の再構築 -グループ連携の強化-	【進捗状況】	【完了目標】
子会社のグルーピング	実施中	2025年3月
(5) 品質保証体制の再構築		
③ グループ全体での品質保証体制の強化と整備 体制・ルールの整備 構成員の人事評価見直し ⑤ 品質保証機能への経営資源投下 適正人員の把握の指導・支援 検査機器の自動化推進	実施中 検討中 実施中 実施中	2025年3月 2025年3月 2025年3月 2025年3月
(6) 不断の検証		
再発防止策の検証 進捗管理および効果検証、進捗状況の公表	実施中	2026年3月



(7) 当社取締役会による監督強化	【進捗状況】	【完了目標】
計画的な後継者育成・登用 取締役会運営面での改善	実施中実施中	2025年6月 2025年6月
内部統制機能の強化		
(2)企業風土の改革		
 ② 新しい企業理念が役職員へ浸透、定着するための取組み経営者-従業員の対話(拠点長会議・職場行脚) 浸透、定着のモニタリング(匿名従業員サーベイ3回目以降) ③ 忌憚なく声を上げられる風土づくり 経営者-従業員の対話(拠点長会議・職場行脚) 企業風土改革のモニタリング 匿名従業員サーベイ(3回目以降) 	実施中 実施中 実施中 実施中	2026年3月 2026年3月 2026年3月 2026年3月
(3)情報の報告・連携の強化		
 ① 声を上げる会議(拠点長会議) ② 社長と従業員の対話(職場行脚) ③ コンプライアンス・ミーティングの活性化 ⑥ 管理職への研修強化(学習管理システム導入等、e-ラーニング開始) 	実施中 実施中 実施中 実施中	2026年3月 2026年3月 2025年9月 2025年3月
(5) 内部監査部門の強化	<u> </u>	
第3ラインによる第1・第2ラインの監査	実施中	2026年3月

製品安全・品質保証統括部へ改編⇒

2007年度

1.0



人的資源への投下による品質保証体制の強化の実施

当社(日本軽金属HD品質保証統括室)品質保証体制人員推移



2008年度当社G不適切行為(防火材料認定使用違反)

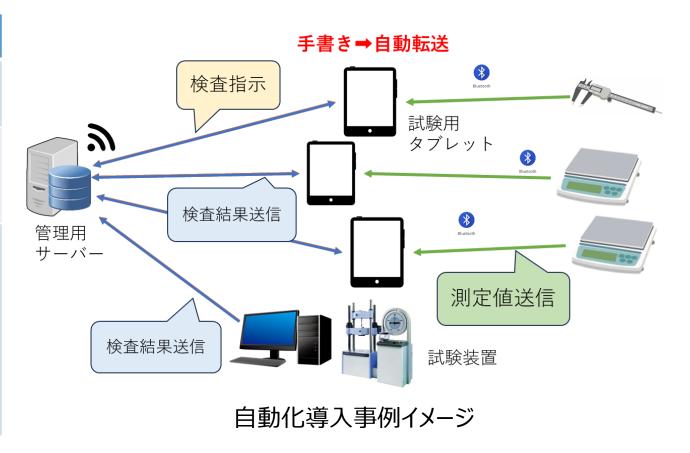
- 2007年度より当社グループおよび 他社品質問発生等に合わせて品 質保証機能への人員の増強を実 施中
- 各社・各部門への支援・協働を継 続中
- グループ品質人財のローテーション を進めるため、スキルマップを作製 予定(本年度中)



品質保証機能への経営資源投下

検査機器の自動化推進 導入事例

	自動化導入事例	
目的	不具合発生時のリ スク回避機能付与	不正・間違い防止
課題	誤表示品の流出	分析結果の書換が 可能
改善 内容	システム改修による 情報の一元管理・ 受注チェック導入、 検査判定・指示	検査合否反映・検 査報告書作成システ ムの導入・運用





職場行脚

忌憚なく声をあげられる風土づくり(継続中)

● 拠点長会議の実施

実施者	社長·取締役
対象	拠点長 ^(※)
目的	 ・ 忌憚なく声を上げられる風土づくり (直接声を上げる場) ・ 経営者と拠点長の情報・意見交換 ・ 拠点長からの現場の現況報告 ・ 拠点長による職場への伝達 (拠点長400名×20名/職場=8000名) ・ 拠点長間の繋がり活性化
計画	200名/回 × 2回/月
参加人数	2024年4月~9月 1,560名 2023年度 3,637名 累計 5,197名

● 職場行脚の実施

実施者	社長・取締役
対象	従業員(拠点長除く)
目的	 ・ 忌憚なく声を上げられる風土づくり (直接声を聴く場) ・ 経営者と従業員の直接対話 ・ 経営者の意思、熱意の伝達 ・ 従業員、職場実態への理解深耕 ・ 従業員間の繋がり活性化
計画	20名/回×400回=8,000名
開催回数参加人数	2024年4月~9月 27回 523名 2023年度 86回 1,542名 累計 113回 2,065名

※工場長、支店長、営業所長のほか、従業員20名以上の拠点については20名ごとに1名の代表者

拠点長会議



再発防止の取組みの進捗状況につきましては、当社ホームページを通じて 今後も継続的に公表させていただきます。

再発防止を着実に実施し、ステークホルダーの皆様の信頼回復にグループを 挙げて取り組んでまいります。